

地方研修について



あおの げんた
青野 源太

(令和5年度所属)
人材開発統括官付 若年者・キャリア形成支援担当参事官室 若年者就職援助係
愛知労働局 名古屋中公共職業安定所

愛知労働局では、ハローワークで10ヶ月、労働局で2ヶ月の研修を受けます。現在は、ハローワークで職業相談・紹介、職業訓練のあっせん、求人受理、求人充足支援、雇用保険・失業給付に関する手続きなど、業務全般を習得できるよう、配慮いただきながら研修中です。その他にも、地元企業訪問、職業訓練校見学、イベント運営等、地方研修ならではのことを多く経験させていただいています。

現場に来て感じたことは、ハローワークはリアルな人の一生が立ち現れる場所ということです。

例えば、職業相談・紹介では、どんな職業に就くかで人生が変わり、失業給付では、生活、いわば命を支えています。

そんな人の一生を支える職業安定行政の重要性、価値などを手触りとして感じています。

本省に戻った際は、今回得た知見をもとに、支援を必要とする方々により的確に支援が行き届く職業安定行政となるよう、利用者の方や職員の方の声を反映させることを心がけてまいります。

1日のスケジュール ①

8:30 ● 登庁

8:35 ● 窓口業務

ハローワークの職業相談窓口で、直接利用者の方の対応をします。例えば、失業給付を受給するための求職登録ではこれから始まるお仕事探しに向けた必要項目の聞き取りに加え、対話からその方の背景や潜在的ニーズを読み解き、そのニーズに対応した支援策についての説明等を行います。また、特性や希望に応じて、わかものハローワーク等の専門的施設の案内や、職業訓練の提案も行います。

10:00 ● 職業訓練校の視察

県内の職業訓練施設の一つ、ポリテクセンター名古屋港の視察です。就職後に即戦力として働けるよう工夫されたカリキュラムや、国の機関ならではの大規模で充実した設備等を目の当たりにしました。また、職員の方と港湾業界の人手不足解消に向けた取組議論や、訓練生の就職率向上に向けたハローワークの支援策について意見交換を行いました。

12:00 ● 昼食

13:00 ● あいちマザーズハローワークのHP更新

利用者に寄り添う充実したHPとなるよう、Q&Aを新設します。具体的な利用者を設定し「必要な情報は何か」、「どんな情報があったら嬉しいか」を念頭に置くことが大切です。マザーズハローワークがどんな場面で役立つのかに加え、子育てと仕事の両立に有益となる情報等を盛り込み、利用者に優しいQ&Aを作成しました。

15:00 ● 「推しタン」の撮影に向けた打合せ

地元企業の求人をYouTubeで発信する「推しタン!」(お仕事探求の略)の撮影に向けた打合せです。今回は誰もが知る大手製パン会社でした。この会社で働きたい!と思っていただけるよう、構成や質問内容を考えたり、先方と当日の撮影ポイントの確認をしたりしました。

17:15 ● 退庁

地方研修

係員クラス

係長クラス

都道府県労働局職業安定部長など

課長補佐クラス

室長・企画官クラス

都道府県労働局長

課長・首席職業指導官クラス以上



いなば ゆうだい
稲葉 雄大

(令和5年度所属)
人材開発統括官付 若年者・キャリア形成支援担当参事官室 企画係

岩手労働局 盛岡公共職業安定所

盛岡公共職業安定所では、相談窓口にはいらっしゃる求職者の方と、直接向き合う、大変貴重な経験をさせていただいています。また、事業所の訪問をとおして、事業主の生の声を聞くことで、地方の人手不足感を実際に感じるとともに、雇用情勢が厳しい中でも、人材確保に向けて創意工夫を行う事業主の思いに触れることができています。

さらに、最低賃金審議会のほか、産業医や人事労務担当者向けの研修に参加させていただくなど、職業安定行政や人材開発行政に限らず、労働基準行政、労働安全衛生行政、雇用環境・均等行政も含めて、労働行政全体について、勉強させていただいています。

また、プライベートでは、若手職員の方々と地元のお祭りに参加したり、隣県を旅行したりと、公私ともに非常に充実しています。このようなつながりも、地方研修の意義の一つだと感じています。

本省に戻った後も、岩手労働局で学んだ、求職者の思いや、事業所の熱意を、政策立案等に生かしていきたいと思っています。

(令和5年度所属)
職業安定局 総務課首席職業指導官室 職業紹介係

滋賀労働局 大津公共職業安定所

滋賀労働局では、ハローワーク・職業安定部の各課・部門を1~2ヶ月ごとにまわり、幅広く業務を経験させていただいている他、ハローワークや労働局が主催するイベント等にも参加させていただいています。

本省で携わっていたもの、見聞きしていたものが実際に現場で運用されているのを間近で見ることができ、本省・労働局・ハローワークがどのように関係しながら、物事が動いているのかについて学ぶことができています。また、職員や利用者とのやりとりの中で制度のわかりづらさや使いづらさ等、課題に気づかされることも多く、現場で活用しやすい制度を作ることの大切さを実感しています。

退庁後や休日は、労働局内外の人と交流したり、観光をしたりしています。滋賀県の文化や歴史などを深く知ることができ、公私ともに充実した日々を過ごしています。

来年以降、現場をイメージしながら本省業務を行えるよう、現場の声をできるだけ多く聞き、現場の視点をしっかりと身につけたいと思います。

(令和5年度所属)
職業安定局 障害者雇用対策課 職業指導係

福岡労働局 福岡東公共職業安定所

福岡労働局では、最初の1週間は職業安定部で職業安定行政の職業紹介業務や雇用保険制度などの各種業務の概要説明をしていただき、その後、ハローワークに在籍しながら職業紹介業務や雇用保険業務など各部門を1~2ヶ月ごとに巡り、窓口業務を含む各種業務を行っています。また、イベントの手伝いや関係機関との会議、職員研修などにも参加させていただいています。

業務を通して、求職者や事業主と接したり、現場で働く職員の方の考えなどに触れたりすることができます。これらの経験は業務内容の理解に加えて、ハローワークの現場感覚を知ることに繋がります。このことは本省に戻った際に、「現場だとどうなるのか」と想像し、制度・政策に現場感覚を反映させることに繋がります。その意味で貴重な経験をしています。

また、業務だけではなく、プライベートでもフットサルやBBQをするなど様々な交流があります。このような業務を超えた繋がりを作ることも研修の1つだと思います。

現場感覚を知り、どのように制度、政策が運用されているか理解することを目標に研修期間を過ごしています。

人間科学職(初年度)の研修について ※様々な状況により、オンライン実施等、変更となることもあります。

4月

国家公務員合同初任研修

全省庁合同で行われる研修。講演等を通じて、国家公務員としての心構えを学ぶ。

新規採用職員研修

厚生労働省新任職員対象の約1週間の研修。省が所掌する幅広い業務内容を学びながら、行政官としての基礎を身に付ける。

5月~7月

人事院初任行政研修

全省庁合同の約2週間にわたる研修。政策に関する講義や討論や、地方自治体での見学・実習を行う。様々な省庁の同期と親睦を深めるとともに幅広い知見と繋がりを得る機会となる。

~初年度3月

人間科学職研修

厚生労働省の人間科学職新任職員を対象とした数日間の研修。人間科学職が主に携わる労働行政の概要に加えて、人間科学職としての心構えなどについて学び、人間科学職の役割への理解を深める。

次年度4月~

地方研修(次年度(入省2年目)の1年間で実施)

都道府県労働局及びハローワークという職業安定行政の第一線で働きながら、職業安定行政施策の運用を具体的に学ぶ。